

事例 No.	21	人口規模	80万人以上	地域ブロック	四国	事業タイプ		情報提供・啓発		事業主体	その他
<b>事業名</b>	次世代育成支援事業はぐみ徳島										
<b>実施地方公共団体名</b>	徳島県・市町村										
<b>特徴・ポイント</b>	「出産や育児に夢が持てる社会づくり」に向けて、産官学民が参加し、協働して、イベント開催、啓発活動に取り組んでいる。また、県内の大学生に企画段階より参加してもらい、これから親となる世代の意見を取り入れ、主体的に取り組んでもらうことにより、次代の親づくりとしての役割も果たしてきている。										
<b>事業のねらいと内容</b>	<p>【ねらい】 産官学民が協力し、次世代育成支援を行う取組を通して、「出産や育児に夢が持てる社会づくり」をめざす。</p> <p>【内容】 次世代育成支援イベント「おぎゃっと21」の開催(例年5/3～5/4の2日間実施)  地域子育て支援事業「はぐみクラブ」  子育て応援キャンペーン「はぐみ徳島サポートメンバー」  「はぐみ徳島紙面企画」(新聞広告)による意識啓発</p>										
<b>導入・実施の背景・経緯 (事業の必要性)</b>	<p>これからは、次世代を担う子どもたちの誕生や成長を、地域全体で支えていくことが求められてくるのではということから、子ども・子育てに関する県内での取組、民間と連携した取組が必要とのことから。(平成13年度～)</p>					<b>導入・実施に際して苦労した点</b>					
						民間との協働の取組において、費用負担をどのようにするかという点。(特に行政側)					
<b>事業の効果</b>	<p>県内での妊婦や乳幼児のいる世帯を対象とした取組として定着してきており、G.W.の大型連休中に身近で親子で楽しみ子育て情報を得られる行事等も好評で、産官学民の協働での取組としても注目されている。</p>					<b>実施にあたってのネックをどのように解決したか</b>					
						イベント開催時の子どもの遊び場のボランティアスタッフの確保 県内大学の児童学科等の協力を得て学生のボランティアを募るとともに、授業等を連携させ、子どもとの接し方や子育て支援について継続的な取組をするとともに、学生も企画段階より参加してもらいこれから親となる世代の意見を取り入れ主体的に取り組んでもらっている。					
<b>事業のアピールをどのように行ったか</b>	<p>実行委員会事務局が地元新聞社であり、その媒体や活動を活かしたPRを行っている。</p>										
<b>必要な協力先・実施主体とその確保策 (必要な協力先)・学生ボランティア・協賛企業 (確保策)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の大学の児童学科等の協力を得て授業等と関連させて継続的な取組</li> <li>・実行委員会事務局である地元新聞社の活動を活かした協賛企業の募集</li> </ul>										
<b>概算事業費 (千円/年度) 平成18年度予算</b>	<p>33,408千円 &lt;内訳&gt;  都道府県補助金:10,000千円  一般会計:4,908千円  その他:18,500千円  (具体的名称 企業協賛金等)</p>					<b>問い合わせ先</b>		<p>所属部署:保健福祉部長  寿こども政策局こども未来課  TEL:088-621-2178  FAX:088-621-2843</p>			